

# JPLA 第 302 回例会開催のお知らせ

## 第1部：パネルディスカッション

**テーマ:**“ベンチャー企業、ベンチャーキャピタルと製薬企業の Win-Win-Win 国内パートナーシップの成功の鍵とは”

**内容:**今や製薬企業でオープンイノベーションを目的にスタートアップベンチャー企業との連携を考えない企業は存在しないと言っても過言ではない。また、ベンチャー企業にとって製薬企業との提携は新たな成長を加速化するトリガーとなる。スタートアップベンチャー企業との連携をテコに新たな成長機会を見つきたい製薬企業の姿勢は確実に強まっているにも拘わらず、両者の提携構築が必ずしも上手く進んでいるとは言いがたい。

今年のベンチャー企業と国内製薬企業との提携構築の成功事例としてルカ・サイエンス(株)と協和キリン(株)の共同研究契約の締結が挙げられる。302 回例会では下記の通り本提携の当事者としてのこれら両社とともにルカ・サイエンス(株)を経営面・資金面から支援されたベンチャーキャピタルのレミジェス・ベンチャーズ(株)及び(株)ファストトラックイニシアティブにご登壇いただき、ベンチャー企業、ベンチャーキャピタル及び製薬企業三者間での本提携機会構築までの経緯と関与を振り返り、三者が Win-Win-Win の提携関係を構築する上での成功のカギとなる戦略とともに克服すべき課題、さらにはその改善策を議論したい。

### **登壇者:**

- ・ルカ・サイエンス株式会社 (代表取締役 CSO, 菅沼 正司 氏)
- ・レミジェス・ベンチャーズ株式会社  
(代表取締役 マネージングパートナー, 稲葉 太郎 氏)
- ・株式会社ファストトラックイニシアティブ  
(バイスプレジデント, 原田 泰 氏)
- ・協和キリン株式会社  
(コーポレートストラテジー部 担当部長, 三村 英樹 氏)

**モデレーター:** 鈴木香 (ロシュファーマジャパン, 上級顧問)

**司会:** 柴野隆司 (EA ファーマ(株), 常務執行役員 統合戦略本部長)

## 第2部：ピッチプレゼンテーション

### 【サイエンスファーム株式会社】(代表取締役社長 片岡 良友氏)

サイエンスファーム株式会社は創薬シーズの開発を目的として2018年に設立された熊本大学発ベンチャーです。

現在、次の4つの領域で開発を進めています。

- ① 全身性強皮症治療薬
- ② 糖尿病治療薬
- ③ 脳保護薬
- ④ エイズ完治薬

当日は最も開発が進んでいる全身性強皮症治療薬の開発状況を中心として説明させていただきます。

### 【bitBiome 株式会社】(CTO, 研究開発部長 津田宗一郎氏)

弊社は微生物シングルセルゲノム解析技術をベースに、ファージ由来酵素エンドライシンの抗菌薬開発を展開しています。

エンドライシンは特定の菌種のみへ効果を示し、薬剤耐性を引き起こしにくい、などの特徴があり、この開発プラットフォームを用いた抗菌薬や疾患原因菌制御に興味を持つパートナーを探しております。

### 【株式会社メディウィル】(代表取締役社長 城間 波留人氏)

メディウィルは、製薬企業、医療機器メーカー、医療機関等のヘルスケア業界に特化したデジタルマーケティングソリューション事業を展開しています。特にペイシエントジャーニーに添った疾患啓発(DTC)に注力しており、協和キリン社の「くるこつ広場」、旭化成ファーマ社の「骨検」等のプロジェクトを支援しています。

### 【株式会社メプラジャパン】(代表取締役 佐藤創氏)

Web3 × 医療分野におけるサービス開発を進めています。特に「DeSci(分散型サイエンス)」のコンセプトに基づき、遺伝子情報などの医療・健康データを研究開発に活用するためのソリューションを2023年にローンチ予定です。製薬業界におけるWeb3技術や医療・健康データ活用にご関心をお持ちの方は連携についてご相談ください。